

特別賞

北海道十勝総合振興局帯広建設管理部

帯広圏都市計画道路事業3・3・46号弥生新道

都 市 名	帯広市	事業主体	北海道
事業概要			
本路線は、帯広都市圏における1環状4放射道路に位置づけられた都市計画道路であり、本事業により弥生新道が南北に連結し、放射道路として帯広市内ととち帯広空港及び十勝港との流通の円滑化とともに、国道38号と国道236号を環状的に結ぶことで、市内中心部の通過交通分散による交通の円滑化が図られた。			
本路線には、湧水（地下水）が豊富な段丘自然林「若葉の森」があり、帯広市街地周辺におけるエゾサンショウウオの唯一の生息地であるため、事業施工にあたってはPCウェル工法、送り出し架設工法による橋梁施工により自然環境に十分な配慮を行った。			
○事業延長	：約1,200m	○事業費	：約73億円
○幅員	：35～50m（車道22m 歩道6.5m×2）	○事業期間	：平成5年度～平成21年度
表彰理由			
国道38号と国道236号が環状ネットワークとして結ばれ、通過交通の分散化により円滑な交通処理に大きく貢献したことが高く評価された。また、湧水や、エゾサンショウウオへの影響について、詳細な調査や地元住民等と協議を重ね、構造形式の変更を行うなど、環境面への配慮も評価が高かった。			



工法変更された橋



整備した産卵池と、エゾサンショウウオの産卵

